

真価が問われる 特別活動

ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事から成る特別活動は今年度、コロナ禍によって多くの学校で延期や中止となったり、実施形式や内容の変更を余儀なくされたりした。そうした中で、これまであまり意識することがなかった特別活動の意義を考えたり、感じたりした教師、そして生徒は少なくなかったのではないだろうか。新学習指導要領において、ますます重要視されることになる特別活動。各校において、育成を目指す資質・能力に基づき、発揮されるべき特別活動の真価とは何か。実践事例などを通じて、考えていく。



生徒会活動

「異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して」(*) 特別活動が目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。



*文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年告示)」より。

事例 **ホームルーム活動** ▶ P.8-11

北海道・市立札幌藻岩高校
1学年副主任・担任

石山智也

兵庫県立網干高校 2学年担任

石原 孟

事例 **生徒会活動** ▶ P.12-15

宮城県立宮崎大宮高校

事例 **学校行事** ▶ P.16-20

熊本県立第二高校

座談会 ▶ P.21-25

シリーズ特集「教育の『これから』を考える」に
登場した教師、識者が語る

「より質の高い学びの場となるために、
これからの学校に求められていること」



國學院大學
人間開発学部初等教育学科 教授

田村 学



長野県蘇南高校
校長

小川幸司



愛知県立豊野高校
進路指導主事

谷口明正



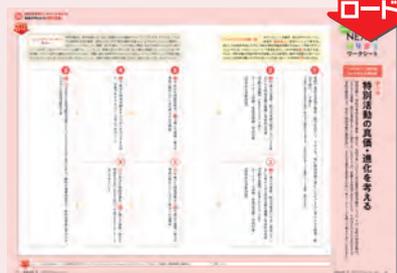
宮城県立宮崎大宮高校
生徒指導主事・主幹教諭

渡部祐一

生徒の・教師の・自校の・社会の
NEXTを語り合うワークシート

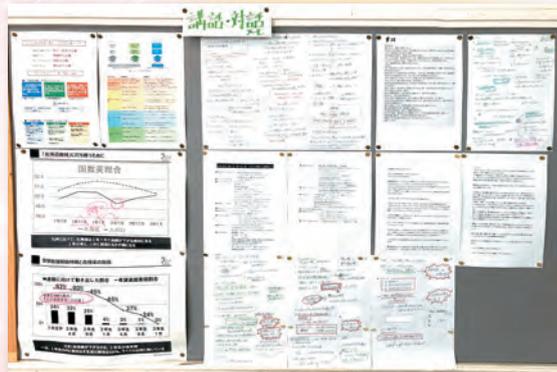
今号の特集のテーマを
自校の教師同士で深める
ツールとして、ご活用ください

▶ P.26-27



ホームルーム活動

「ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して」(*) 特別活動が目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。



学校行事

「全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら」(*) 特別活動が目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。



このマークのある図版は、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。
「HOME → 教育情報 → 高校向け」をご覧ください。